

事業所名 リッツ児童デイサービス港南台

支援プログラム (参考様式)

作成日

2025 年

2 月

25 日

法人(事業所)理念	学び、遊び、自立する。 ご家族の気持ちに寄り添い、お子様が何が必要なのかを共に考え、個々にあった発達支援を行い、お子様が成長できる場を提供します。										
支援方針	リッツ児童デイサービスは、運動や学習を通じてコミュニケーション能力や社会性を教え・学ぶことで、集団生活の中で自立し、現実社会で生きる力を身につける療育支援を行うことを目的としています。当然、親御さんと密に連携し、不安や悩み寄り添いながら共に歩んでいきます。学校や地域とも連携し、社会とのつながりを大切にします。										
営業時間	平日 学校休日	14 9	時 時	0 30	分から 16	17 時	40 00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容											
本人支援	健康・生活	リラクゼーションの習慣と、ストレス・疲労に対する認識力を身につけます。 来所後・外出後の手洗いやうがい、必要に応じた検温をすることで感染症対策と健康状態の維持や把握を行います。									
	運動・感覚	日々プログラムによって体幹を鍛え、スポーツなど運動全般を上達させ、疲れにくい身体や正しい姿勢を作っていきます。 公園や室内で遊びを通して、自然に体力作りを行い体幹を鍛え、日々の体幹トレーニングとの相乗効果を促します。 指先トレーニングなどの微細運動の実施や感覚遊びを通して、細かい作業に慣れ様々な感触に親しみがもてるようにします。									
	認知・行動	学習塾を運営する当施設ならではの学習メソッドで、宿題や学習課題、さらにはコグトレ(コグニティブ・ファンクション・トレーニング=認知機能トレーニング)に取り組みながら学びを楽しみます。 公認心理師/臨床発達心理士と共同開発したプログラム療育を通して、運動・遊び・学習などのルールの理解や適切な行動などの社会性を養います。 ホワイトボード等を活用した日にちや曜日、行動の認知を促します。また、その日の活動の見直しも持てるように視覚支援を行います。									
	言語 コミュニケーション	お友達や職員と一緒にゲームなどの遊びややり取りを通じて、言語・非言語を用いて、自分の思いを上手に伝えていけるよう支援します。 遊びやレクリエーションを通して、自分の思いや話を一方通行で伝えるだけでなく、相手の思いや話を聞き、相手の話に合わせてながらコミュニケーションを取れるように支援します。									
	人間関係 社会性	ロールプレイやグループワークを通じて、挨拶や順番を守る、適切な頼み方や断り方などの社会的スキルを学び、日常生活や対人関係での円滑なコミュニケーションを身につけます。 上記SSTで学んだことを、外出やイベントを通して実践したり、集団行動や時間を守る等の新しい経験も積みながら自立へのきっかけを作っていきます。 事業所内で電卓を使用した買い物学習や、実際にお店に行つての買い物学習実践を通して、お金の概念を学びます。									
家族支援	送迎時や連絡帳を通じて日々の情報を共有します。ご家族の希望を聞き、本人に必要なことを共に考え、個々にあった支援をします。年間数回、公認心理師を招き「保護者のためのリッツの会」を開催し勉強会・相談会を実施します。						移行支援		担当者会議に参加する等、他事業所との情報共有を行いながら一人ひとりに合わせた個別のサポートを行います。		
地域支援・地域連携	各学校との情報共有や他事業所や相談支援員との情報交換をすることで、連携を深めます。また中央公園で活動の際、プレイパークの方々とも連携を図ります。「保護者のためのリッツの会」は地域の方にも門戸を開いています。						職員の質の向上		公認心理師/臨床発達心理士による研修を年間5回実施しています。 定期的にロールプレイ研修を実施しています。 資格取得試験の促しを行っています。		
主な行事等	学校休日には他エリアの大きな公園での活動、買い物実践、季節ごとの催し物、施設などへのお出かけレクリエーションなど様々なイベントを実施しています。										